

令和7年度 第5回府中市環境保全活動センター検討調整会 議事録

■日 時：令和7年8月19日（火）午後2時～3時30分

■場 所：市役所おもや3階会議室A302

■出 席：（敬称略）

（委 員）（7名）石川 伊智郎、浅田 多津子、藤間 利明、室 英治、
竹嶋 仁、杉村 康之、西尾 克人

（事務局）（3名）田口 敦、熊谷 一茂、青木 大地

■欠 席：（敬称略）

（委 員）（1名）塚原 仁

（事務局）（1名）柳下 豊宏

■議 事

1. 報告

① 令和7年度 第4回検討調整会議事録・・・

（事務局：青木）第6回かんきょう塾について、修正事項あり。集合場所の変更（分倍河原駅南口）、活動後のグループ活動場所（第二庁舎6階会議室）が含まれる。

② 活動センター事業について・・・

- ・（事務局：青木）かんきょう塾は第2回・第3回が終了し、8月30日に第4回の開催を控えている。第4回では、講師に東京農工大学の高田教授を迎え、合成洗剤やプラスチックなどの化学物質による環境汚染についての講義が予定されている。その他イベント事業として、7月25日の「打ち水日和」では、西府の湧水を活用した打ち水体験を開催した。通行人を中心に95名が参加し、親子連れなどから好評を得た。また、7月26日と8月2日には、「自然観察たんけん隊（府中かんきょう市民の会委託事業）」が開催され、猛暑の中でも熱中症対策を徹底した上で、安全に屋外活動を実施。8月21日には「夏休み親子かんきょう塾」が開催予定であり、浅田氏や藤間氏をはじめとした計6名のサポーターから協力を得られることとなった。なお、かんきょう塾では、現在6グループに分かれて活動が進められており、それぞれが府中市の環境基本計画に沿ったテーマを設定し、活動を進行中である。
- ・（室委員）活動センターとして、環境まつりにパネル出展するのであれば、事前に検討調整会にてパネル案を共有してもらいたい。
- ・（浅田委員）第4回かんきょう塾について、教育関係者も含め是非多くの方に参加してもらいたい。
- ・（藤間委員）保育・教育分野の学生を抱えている朝岡教授に声をかけてみる

のはどうか。朝岡教授を通じて教育関係者に広めてもらえないだろうか。

- ・（杉村委員）東京農工大学の学生を対象とした情報紹介LINEサービスを上手く活用したほうがよい。また市内の小中学校に対しても、かんきょう塾のことを周知できないか。
- ・（室委員）委員も各自、知り合い等に声掛けをしていくのはどうか。第4回かんきょう塾の募集チラシデータを委員全員に共有してもらいたい。

③ その他・・・
特に無し。

2. 議事

① 活動センターの運営方法について・・・

事務局：熊谷より、7月24日に開催された有識者会議の概要について説明あり。それを踏まえ、委員・事務局より以下のとおり意見がなされた。

- ・（藤間委員）有識者会議の内容を踏まえ、上層部への説明はどのような結果になったのか。また、予算取りに向けた動きについても確認したい。
- ・（事務局：熊谷）上層部（理事）への説明はなく、現時点では部内での話し合いまでとなっている。予算については、これまでの予算を膨らませる方向で要求していく考えである。今後のワークショップで固めた計画をもとに、再来年度の政策経営会議に出す想定。
- ・（藤間委員）多くの賛同者を得るために、今後の進め方を記載した資料を作成するのはどうか。段階的に賛同者を増やしていくのがよい。
- ・（石川委員）スケジュール的にもすぐに手を付けないと間に合わない。
- ・（室委員）次回の有識者会議の予定は立っているのか。
- ・（事務局：熊谷）賛同者を得るための、説得材料が必要である。そこで、「府中市市民活動センター プラッツ」の立ち上げ経緯を、関係者にヒアリングすることになった。8月28日（木）16時30分から市役所おもや4階会議室にて2回目のヒアリングを実施する予定。
- ・（藤間委員）センター市民営化に向けて、誰が取りまとめ役を行うのか。有識者に市民営化のひな型（たたき台）を作成してもらい、それを検討調整会でまとめるのはどうか。
- ・（事務局：熊谷）検討調整会の場にファシリテーターとして有識者を招くことを検討している。有償での依頼となるため、予算を確保する必要あり。
- ・（西尾委員）八王子市や日野市に比べて予算が少ないのはなぜか。部内の予算を膨らませるうえで、新センターの構築について説明はなされるのか。
- ・（事務局：田口）大きなゴールは示したうえで、まずは準備段階として必

要なワークショップ費用を要求する考えである。

- ・（藤間委員）令和7年度中に最終的なイメージは共有しておいた方がよい。また、ワークショップはどのくらいの頻度で実施する予定なのか。ワークショップの参加者だが、既存メンバーだけではなく、環境に興味の無いような方も含めるのもよい。賛同者を増やし、いずれは支援者になってもらいたい、どのように参加者を集められるか。
- ・（浅田委員）第4回議事録において、環境基本条例にセンターのことが明記されていないと記載されているため、そのことについて確認したい。
- ・（事務局：熊谷）条例にはセンターという名称は明記されていないものの、センターの機能や中身について示されているため、議事録の修正を行う。
- ・（杉村委員）7月24日の有識者ヒアリングにて、新しい組織をどのようにイメージしているのか確認したい。
- ・（事務局：熊谷）事務局とシンクタンクに分け、その2機関を運営の軸として、市民や企業にも参入してもらうイメージである。
- ・（藤間委員）新センターの立ち上げにあたり、一般社団法人やNPO法人のメリット・デメリットは考えておいたほうがよい。

② その他

（杉村委員）第5回かんきょう塾（町田バス見学）について、かんきょう塾ネットからは、藤間氏・増山氏・高原氏・表氏・本森氏が参加を希望している。バス見学当日の車内における説明内容について、検討する。

かんきょう塾のグループ活動について、以下のとおり決定・検討事項あり。

- ・グループ活動の発表は1月予定。発表時間は1グループ15分以内を目安。
- ・発表資料は、可能な限りPDFまたはパワーポイントで事務局へ提出。
- ・発表内容の提言方法については、環境審議会への提出、市への要望書など複数案を検討。

4. その他・・・

次回は、令和7年9月16日（火）午後2時～@おもや3階会議室A302での開催に決定。

事務局：青木が8月25日～9月30日まで長期不在となるため、その間の連絡先は係長の熊谷宛となる。